

多読クラブ会員様へ

書籍追加のお知らせ（7月 - 第2弾）

Ready to Read Level 2 から、スヌーピーシリーズ7冊とヘンリーとマッジシリーズ12冊を取り寄せました。ICRB(I can read books)よりも読みやすいと思います。ただしスヌーピーシリーズは学習英語から離れた表現が所々出てきますので、ちょっと難しく感じるかもしれません。「ヘンリーとマッジ」は男の子 Henry と飼い犬の Mudge、それにその家族や近所の人達が登場する、ほのぼの系ストーリーです。

●Henry and Mudge シリーズ	YL	総語数
Henry and Mudge and The Bedtime Thumps	0.9	600
Henry and Mudge and The Long Weekend	0.8	1000
Henry and Mudge and The Forever Sea	0.8	700
Henry and Mudge and the Best Day of All	1.2	600
Henry and Mudge and the Careful Cousin	1.1	600
Henry and Mudge and the Sneaky Crackers	1.1	600
Henry and Mudge and the Starry Night	1.2	500
Henry and Mudge and Annie's Good Move	1.1	600
Henry and Mudge and Annie's Perfect Pet	1.2	600
Henry and Mudge and Mrs. Hopper's House	1.2	600
Henry and Mudge and a Very Merry Christmas	1.1	600
Henry and Mudge and the Snowman Plan	1.1	600



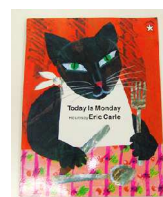
スヌーピー (Peanuts) シリーズ	YL	総語数
Kick the Football, Charlie Brown! (Peanuts)	1.1	700
Friends Forever, Snoopy (Peanuts)	1.1	600
Take a Hike, Snoopy! (Peanut)	1.1	600
It's Time for School, Charlie Brown (Peanuts)	1.1	700
Snoopy: Flying Ace to the Rescue(Peanut)	1.1	700
Lose the Blanket, Linus! (Peanuts)	1.1	700
Lucy's Advice (Peanuts)	1.1	700



語数が少なく、やさしめの絵本を4冊

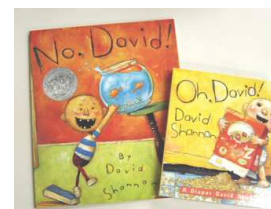
●Today Is Monday YL0.3 総語数 100

アメリカのわらべ唄を、Eric Carle 氏が絵本にしたものです。月曜日から順に、動物と食べ物が描かれています。最後のページには楽譜がついていて、一緒に歌えます。ページをめくりながら、歌ってみてはいかがですか？わらべ唄ですから、意味はあまり深く考えすぎないように。



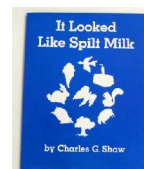
●No, David! YL:0.2 と ●Oh, David YL:0.2

David のお母さんはいつもいつも No, David!としかってばかり。だって、David の悪さときたら・・・。こりゃあすごいですよ。ページをめくるごとに笑えます。でも、最後だけは No!じゃないんですね。小学生以下のお子様がいらっしゃったら気合を入れて読み聞かせてください。Caldecott Honor 賞受賞作。(同シリーズ、あと2冊近日追加予定)



●It Looked Like Spilt Milk

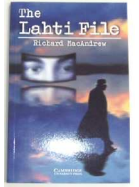
この白いものはいったい何かしら？ページをめくるごとに、いろんな形にかわります。子どもたちと一緒にしながら形のあてっこをして遊べます。最後に、この白いものの正体が分かります。同じ文章が繰り返される、パターンブックです。邦題「あれみるくかな？」ほるぷ出版。



・以上、紹介本は一時的に貸し出しが集中します。取り置き予約は hemmi@e-pal.co.jp までお願いします。

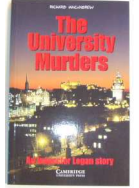
- The Lahti File YL : 3.5 総語数 : 14,000 (CER3・会員さんリクエスト本)

Finland の Lahti 市で、魚が怪死したり、毒ガスでカップルが死んだり、渡り鳥の数が減ったりする事件が立て続けておこる。フィンランドの有数な製薬会社の社員からある情報を得たイギリス諜報部員がフィンランドに飛び、真相を探る。書き下ろしなのでとても分かりやすい英語です。



- The University Murder YL : 4.4 総語数 : 18,800 (CER4・会員さんリクエスト本)

Edinburgh 大学の女子大学院生の死体が草原で発見された。「俺が殺した」という虚言癖の男が自首するが、とてもその男の犯行とは思えない。犯行の動機は何なのだろうか？ 手がかりの少ないこの難事件を女性刑事 Jenny Logan は解決できるだろうか？ とても英語が読みやすくレベル 4 への入門書としておすすめ。



- Finding Nemo YL : 3.0 総語数 : 2,600

ご存知、ファインディング・ニモの簡略版です。朗読CDの完成度が高いです。レベルは高めですが、CDを聞きながら読むとリスニングの練習にもなるかもしれません。



- English Zone 22 YL : 3.5 総語数 : 28,000

2 ヶ月に 1 回発行の日本人学習者向け英文雑誌です。今回のトピックは、千葉ロッテマリーンズのポビー・バレンタイン監督、俳優の今井雅之、ほか、日本人に馴染みのある有名人へのインタビューと、インターネットの展望などが中心にカバーされています。WEBにて全文和訳掲載されていますので、「お勉強」したい方にもお勧め。(記事朗読CD付き)



・これまで習志野台だけにあったマクミランの子供向けレベル分けリーダー・スプリングボード 128 冊(すべて音声CDつき)を実籾の書棚に入れますが、入れる場所が足りないので、ICR(I Can Read Books)を一時的に習志野台に移動します。スプリングボードは最高レベルで YL 0.8 くらいです。

編集後記 「急がば回れ」

SSS多読法では、レベル2までの本だけで最初の100万語という基準というか、目安があります。ところが実際に多読を始めた方の多くが、短期間のうちにレベルを上げたがります。これは人間の向上心という本能のせいであり、ある意味立派なことですが、しかし、無理にレベルを上げることによって難しい本、知らない表現、単語に出会う可能性が大きくなり、その結果、読書がつまらないものとなってしまい、停滞、挫折につながる危険性が増します。レベル2というのはだいたい基本語彙 1000 語以内で書かれているものです。普通の英字新聞の記事の約 80%はこの基本語彙 1000 語内で構成されています。この基本 1000 語をしっかりとマスターするためには、これらの語彙の使用場面を約 1000 回経験する(読む)ことが必要であり、それで 100 万語という目安があるわけです。

ちなみに英検準 1 級の二次面接は中学英語を駆使することで合格できると言われています。でもそのためには中学英語の名人でなくてはなりません。早く高いレベルに到達したいと思うときは、高いレベルに手を出すのではなく、やさしく読めるものをたくさん読むことが近道かもしれません。つまり「急がば回れ」。